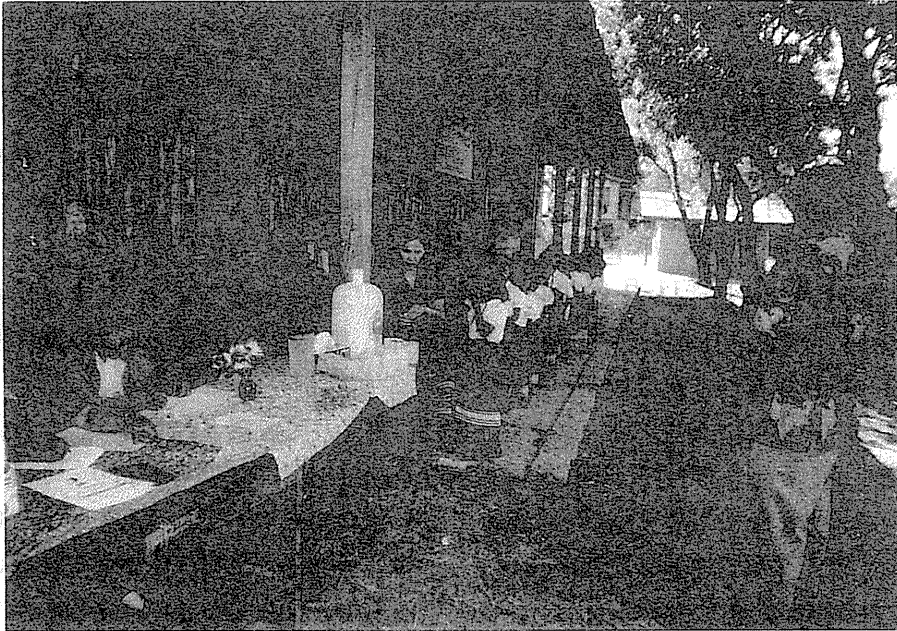


じゃっど

平成 14 年 2 月 9 日



子どもたちへの健康診断と駆虫投与の様子（ソックノイ小学校にて）

皆さま、いかがおすごしでしょうか。“じゃっど”は昨年末で設立から 9 年たちました。10 年めに向かい何かと変動の年となりそうです。

じゃっどでは、サポートチームが川内の事務局で年に数回話し合いながら、活動をすすめてきました。昨年の 10 月くらいから、じゃっどは任意団体のままではなく法人格を取得したらどうだろうという意見が出てきました。サポートチームで話し合い、法人格取得へ向けてすすめてみることにしました。しかし、まず会員の皆様のご意見を伺いたく今回は返信用のハガキを同封いたしました。案内いたします臨時総会は設立総会という名になりますが、法人格取得を行わないと決まる可能性もあります。どうぞ、皆様方のお考えをお聞かせください。

さて、昨年 10 月末に例年どおりタットルアン祭りにあわせて、視察に行ってきました。9 月のテロ事件がありましたので、積極的なお誘いはいたしませんでした。すみません。川内から松永良恵氏と私の 2 人ででかけましたが、ラオスでは藤島美由紀氏が加わり、バンコクでは、6 人のバンコク在住じゃっど関係者（岩下氏、小林氏、田邊氏、友野氏、永井氏、三浦氏）にお集まりいただきました。楽しいけれど、あわただしい日程でした。次の報告をご覧ください。（帖佐理子ちょうさみちこ）

10月28日鹿児島—福岡—バンコク—ウドンタニー—ノンカイ
10月29日ノンカイ—ヴィエンチャン—学校視察
10月30日学校視察、机いす記名
10月31日タットルアン祭り ヴィエンチャン—ルアンパバーン
11月 1日ルアンパバーン—ヴィエンチャン

「じゃっどツアー視察・活動報告」

藤島 美由紀

9月下旬から11月上旬までラオス・ヴィエンチャンに滞在し、JADDOの活動（主にJICAの小規模開発パートナー事業の準備）を行いました。

そのうち、11月29日～11月2日まで、鹿児島から帖佐代表、会員の松永良枝さんが「じゃっどツアー」でラオスに来られ、一緒に小学校訪問、机・いすへの記名作業、関係機関訪問、タットルアン祭り観光などを行いました。

会員の方からの寄付による「机・いす」は数校に分かれて設置されていて、2日に分けて小学校を訪問しました。うち1校は学校校舎の建設をJADDOが援助しており、今年4月に訪問した時見た学校とはとても思えない、しっかりした校舎が完成していました。新しい机・イスへは日本語とラオスでお名前を記入するので、ラオス語はその教室担任の先生に書いてもらいました。それが終わると、子供たちと一緒に写真撮影です。とても暑い教室のなかで文字を書くことは大変ですが、それ以上に写真撮影は机を移動したり、子供たちに動いてもらったりと大変、しかし、帖佐代表、松永さん、皆さんの協力のもと、無事終わることが出来ました。とても重いのに1年生ぐらいの小さな子供たちが一生懸命手伝ってくれました。体力的には疲れても、子供たちとふれあううちに、「こうして一緒に写真撮影ができてよかったなあ」と感じました。不思議なことに子供たちはカメラの前で笑顔をつくるのは苦手のようにでしたが、帖佐代表のビデオカメラには大はしゃぎ！でした。子供たちは「新しい机といす」で嬉しそうにしていましたよ。

その他の活動として、「学校保健と水の確保、トイレ建設」を盛り込んだ「鉤虫対策プロジェクト」（JICA小規模開発パートナー委託事業）の為に、ラオス外務省、ヴィエンチャン市保健局などの関係機関担当者を訪問したり、情報収集、書類の準備を行ってきました。現在はラオス外務省にてNGO登録が完了を目標に、その後、計画を実行していけるよう、活動を想定して、計画をイメージ化しています。

私個人としては、1ヶ月、2ヶ月とラオスに滞在させていただいて、カルチャーショックもありましたが、それも新しい発見ですし、段々と生活に慣れて来て、初めてラオスの人々の生活が見えてきたところです

「ラオス視察の報告」 ラオスツアーに参加して

若松記念病院婦長 松永良恵

10月28日から11月4日の8日間、ラオスにじゃっどの活動視察に行ってきました。9月11日の同時多発テロ事件が起きた後でもあり、少し不安を抱いての初めての海外旅行でした。今回は、そのようなこともあり会長と二人だけのツアーとなり旅慣れた会長の後から、付いて歩くだけの私でしたが、ラオスの生活や風習等いろいろなことを見ることができました。ラオスの印象は、人々が夕暮れ時に木陰でイスにかけて、ゆっくりと語らっている光景があちこちに見られ時間がのんびりと過ぎていて、日本には、あまり見られなくなった風景を感じました。車が通った後は、赤い土ほこりが舞い上がる赤土の道路脇には、実をつけたパパイヤの木がはえており、まるまると肥えた水牛があちこちで放し飼いにされ、車をおそれることなくのんびりと草を食べたりして自然に満ちた世界でした。二日目からは、ラオス滞在中の藤島美由紀さんと落ち合いNGO登録手続きに必要な関連機関をいっしょに訪問させていただきました。

また、ラオスの小学校は写真でみたりはしていましたがとても質素なもので採光も充分とは言えない作りの建物で水道もトイレも無く、じゃっど会員からの机とイスが並べられており、子供たちが勉強をしていました。教科書を持っていない子供たちもいたりして、まだまだ形だけの学校でした。物のあふれた日本の豊かさに感謝したい想いでした。机の記名作業は、とても暑い教室の中で作業となり、子供たちとの言葉も通じない為にジェスチャーでのやりとりでしたが小さな体でとても重いラワン材の机とイスを移動するのを手伝ってくれ、とても、すなおさを感じました。

ラオスの伝統行事でタートルアン祭が行われており、ソムチット医師といっしょにお供えものを準備してもらい托鉢に朝早く行きました。タートルアン前の広場には、出店が立ち並びめずらしい食べ物等があったり、ラオスの民族衣装でパービアン（たすき掛けにする織物）にシン（絹織りの長いスカート）をまとった女性の姿は、とてもきれいで印象的でした。また黄金色に輝く仏塔の周りには、オレンジ色の僧衣をまとった僧が多勢座り大読経が行われました。その後、僧の前に行きお祈りとお供えものをして回りました。ラオスの移動中もあちらこちらにワット（お寺）が建っていて数の多さに驚きました。

次に、飛行機でルアンパバーンに行きました。そこは、1995年、ユネスコの世界遺産として、町全体が初めて登録され観光地になったところでした。ここもまた、歴史を感じさせる古い寺院がたくさん見られ、その中でラオスの寺院で最高の美しさを誇るワット・シェントーンの見学を行いました。メコン川とカーン川が合流する岬に建っており、寺院のなかにはシーサワンウォン王の葬儀がとりおこなわれた時に使われた巨大な八つの龍の頭がついた霊柩車が納められていて、建物を壊さない限り二度と外に出すことができないいっぽうなもので、当時の王の葬儀の盛大さを感じました。日本からの海外協力隊員の案内で王宮博物館の見学を行い、ルアンババーン王国の宮殿の生活も偲ぶことができました。また、ラオスで一番大きなクアンシーの滝に行き、ラオスは乾季に入っていました。水量が多く壮大な滝や熱帯植物など見ることもできました。

帰国の途中、バンコクに一泊して、バンコクのプムルンラート病院の見学を行いました。ラオス

とは違い周囲は高いビルが建ち並び、一気に大都市にきて環境の変化で頭の中が混乱してしまいました。案内の方に病院内の治療室、診察室、レントゲン、CT室、特別病室など説明をしてもらい病院よりホテルの雰囲気があり、りっぱな建物には、目を見開くばかりでした。その後、バンコクの寺院を見学しましたがラオスに比べると規模も大きく色も鮮やかで黄金色に輝き、経済力の違いをまざまざと感じさせられました。現地の料理には、なじむことができませんでしたが、この八日間は、忙しい時間から解放され有意義な時を過ごすことができました。

国内活動（2001年9月～2002年1月）

- * 9月7日 ジャっど会員の土瀬戸邦洋氏（NPO法人F S U N国連支援交流協会理事）が、東京より事務所訪問
- * 9月18日 ジャっど会（各イベント参加について）
- * 9月22日 帖佐理子会長が、国際ボランティアのつどい（鹿児島県串木野市福祉センター）で記念講演
- * 9月22日～10月22日 串木野郵便局にてパネル展示
- * 10月4日 ジャっどニュースレター発送（総会の報告など）
- * 10月27日、28日 佐藤章子氏、三本沢世氏が鹿児島純心大学祭の展示コーナー（ジャっど活動紹介、パネル展示）にボランティア参加
- * 10月28日～11月4日 若松記念病院婦長松永良恵氏、藤島美由紀氏、帖佐理子会長がラオス視察
- * 11月20日 ジャっど会（小規模パートナー事業経過報告、NPO法人への申請について）
- * 11月22日 ジャっど会員の古田宣稔氏が川内小学校にてボランティア講演
- * 11月29日 帖佐理子会長が国際ボランティア推進協議会会合にて活動の紹介
- * 12月2日 ジャっど忘年会（青年海外協力隊OB共催、ゲスト松下忠洋代議士夫妻）
- * 12月18日 帖佐理子会長が川内ソロプロミストの例会で卓話、ジャっどの活動に対して川内ソロプロミストから感謝状及び寄附金をいただく
- * 1月4日 ジャっど会員の藤島美由紀氏がラオスに行く（小規模パートナー事業の準備）
- * 1月13日 ジャっど会員の酒井マリ氏、帖佐理子会長が川内ロータリークラブの会合で講話（開発教育）
- * 1月15日 ジャっど会（NPO法人について）

【事務局からのお知らせ】

感謝の気持ちとともに、ご支援ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。

（以下敬称略）

新規会員（2001年9月～2002年1月）

伊東安男（始良郡）、高橋栄子（東京都）、今給黎美智代、山崎ひろみ、福田弘子（鹿児島市）、中西一仁（三重県）、上堀美千代、中島香代子、大山信子、岡田純枝、増岡淳子、松下忠洋、松下章子、高橋清輝（川内市）、田邊ツル子（タイ国）、友部順章、永井伸彦、小林淳、岩下充彦（ラオス国）

平成13年度会費（2001年9月～2002年1月）

伊東安男、今村賢治（始良郡）、若松大介、中村幸子、米次朝子、神田安代、上堀美千代、中島香代子、大山信子、梅木多津子、下尾崎健一、岡田純枝、増岡淳子、久木野淳一、久木野恵、安永健次郎、松下忠洋、松下章子、今村久美子、高橋清輝（川内市）、黒江豊、伊東正樹、中馬正夫、中馬太郎（日置郡）、今給黎美智代、山崎ひろみ、福田弘子、豊平修長友由紀子（鹿児島市）、中西一仁（三重県）、土山早苗（千葉県）、高橋栄子、藤井洋、長崎綾子、阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）、田邊ツル子（タイ国）、友部順章、永井伸彦、小林淳、岩下充彦（ラオス国）

平成14年度会費（正式には平成14年7月1日以降会費納入いただきます）

仮屋洋子（川内市）、黒江豊（日置郡、平成15度分まで）

寄附金（2001年9月～2002年1月）

中村幸子、米次朝子、中村千恵、大山信子、富園美香、安部良宣、国際ソロプチミスト鹿児島・川内、じゃっど有志とJOCV-OB会、藤井富佐子、江口紀子、帖佐理子（川内市）、高橋栄子、長崎綾子、阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）、武岡台高校生徒一同、酒井マリ（鹿児島市）、伊東正樹（日置郡）、土元みゆき（名瀬市）

机、いす募金（2001年9月～2002年1月）

安部良宣、川内小学校児童会（川内市）、伊東正樹（日置郡）、中西一仁（三重県）、武岡台高校生徒一同（鹿児島市）

《会費納入のお願い》

平成13年度会費（平成13年7月～平成14年6月）未納の方は、早めにお問い合わせ致します。

年会費はお一人2000円です。①～③の中からお選び下さい。

① 会費自動引き落とし（郵便貯金口座）毎年8月30日引き落とし

② 郵便振替 口座番号 02050-2-4746

口座名称 JADDO

③ 現金払い（若松記念病院となり寿泉堂内じゃっど事務局）

じゃっど事務局

電話、FAX ; 0996-27-0193

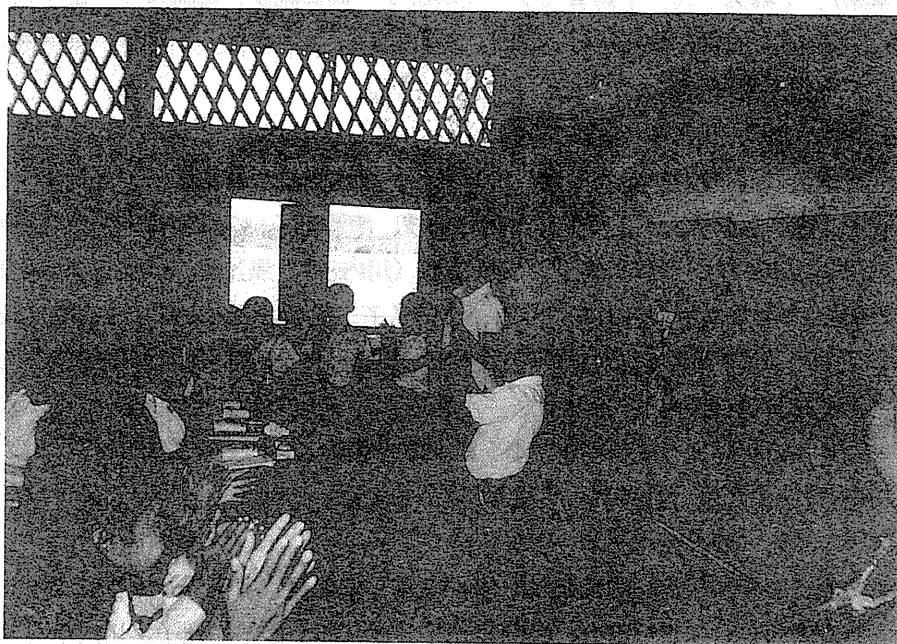
e-mail asianoko@ml.satsuma.ne.jp

鹿児島県川内市神田町11-20 若松記念病院内

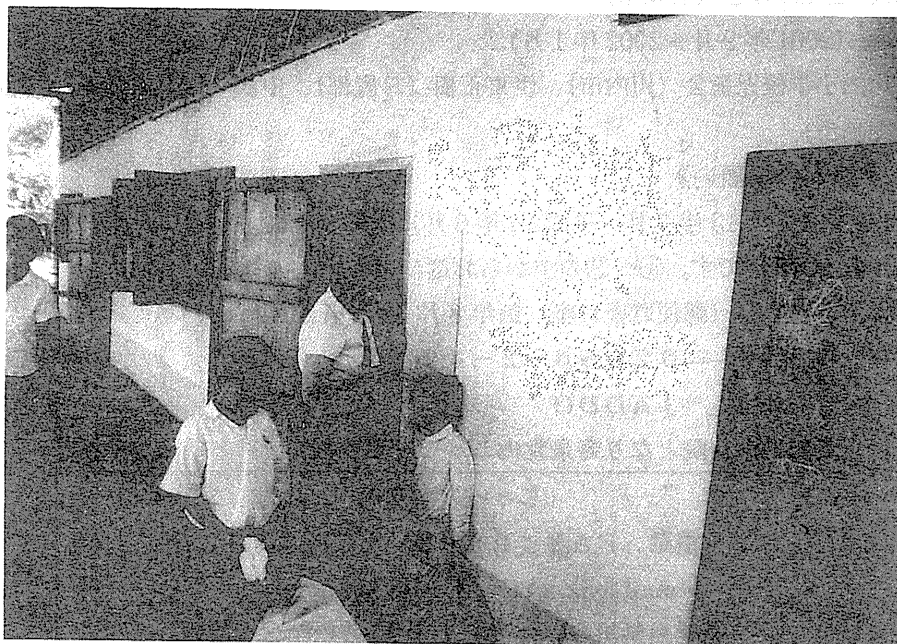
会長 帖佐理子 事務担当 宮脇美智子

ラオスでの活動

1月19日の子供達への手洗い指導と健康診断の様子（ソックノイ小学校）



手洗い指導の様子



健康診断の様子